

防災かしの木

上尾かしの木特別支援学校

防災部 防災推進委員会

令和2年12月24日 第11号

～防災デイキャンプ 特別号～

はじめに

先月号でお知らせした防災デイキャンプについて、本号で詳細をお届けします♪

今回はコロナ渦での実施となり、やむを得ず参加者をPTA本部役員のご家庭のみに限定しての開催となりました。得た成果を少しでも多くみなさんにも知っていただき、学校と家庭が協働してより防災意識を高められるきっかけとなれば幸いです。

各コーナーでの参加者の反応

【防災食体験】



- 普段冷たいご飯を食べない子どもが、ちゃんと食べていてびっくりしました！
- 冷たいカップラーメンが意外とおいしい。

【段ボールによる居住スペースづくり】



- 囲いがあることで、プライベートな空間が守られているように感じました。
- 寝袋にくるまる安心感が子どもたちから伝わってきました。

【防災グッズづくり】



- 「あるものを工夫して生活する」という視点を持つことができた！
- 学校の防災教育でもぜひやって欲しい。

【簡易トイレの組み立て】



- 簡易トイレを揃えるのはコストがかかるため、まずはごみ袋、ペットシート、トイレト紙の備蓄を。(防災士の方より)

ぼくのわたしの防災リュック

参加の事前企画として各家庭から防災リュックを持ち寄り、中身を比べながら意見交換を行いました。



防災リュックの中にあると良いものリスト

(水や食料を除く)

- 携帯トイレ（個人用）
- 子どもが安心するグッズやアイテム
- 暑さ、寒さ対策のグッズ（カイロなど）
- スマホのモバイルバッテリー



震災体験の講話

本校教諭 月花より
震災時の状況、当時の心境など東日本大震災での経験を詳細まで話していただいたことで、当時の様子を想像しながら聞くことができました。



福島県在住 石本さん
リモートによるインタビューを行い、避難所生活の様子や震災の経験からの学び等、貴重なお話を聞かせていただきました。



アンケートより

- ・どの体験も子どもと2人だけでは、経験することができないことばかりでした。防災食の冷たいご飯も普段なら食べないだろうなあと感じていましたが、食べていましたし、量にも納得する様子を見て、環境に対応する力がついてきたんだと、子どもの成長を感じることもできました。
- ・今回の体験を通して、避難所での生活や子どもの様子がよく分かりました。子どもに合わせて、必要な物を家族と考える準備するきっかけになりました。
- ・震災体験のお話にあった「不安からとても喉が渇く」という言葉が印象的でした。水の備蓄の大切さを改めて感じました。
- ・100円ショップで防災グッズがほとんど揃うことに驚きました。買い物や普段の生活のシーンの中で、「防災の視点」をもつことができたことが大きな収穫です。

おわりに

今回のデイキャンプの様子をまとめた動画を、保護者の方限定で公開させていただく予定です。決まり次第、詳細については、かしの木メールでお伝えします。

学校では今回の成果を生かし、学部ごとに系統的で体験的な防災教育を展開し、その様子を積極的に情報発信していくことで、家庭との防災意識の高め合いを図っていきたいと考えています。今後とも、本校の活動へのご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。